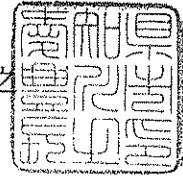




豊都第6号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長
宮田年耕 殿

豊川市長 中野勝 之



道路整備の中期的な計画の作成に関する意見について

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありましたみだしの
ことにつきまして、別紙のとおり提出しますのでよろしくお願いたします。

道路整備の中期的な計画の作成にあたり今後の道路政策、管理について

① 重点化を進める上で、特に優先度の高い政策について

道路整備は、地域の産業・経済の発展に欠かすことのできないことは、もちろんのことですが、高齢化社会を迎えつつある中、地域医療が、重要な役割を担ってきます。特に患者の搬送については、道路に頼ることが多く、一刻も早くということも数多くあります。

本市におきましても、救急車が、毎日、市内だけでなく、新城方面から搬送されて来て、急患の方も多くあり、時間的にも道路整備の果たす役割は、大きくなっております。このため、地域間をなるべく短時間で結べる幹線道路の整備が重要であると考えます。

また、市街地内の道路整備は、コストも時間もかかり、なかなか成果が現れない中、比較的事業進捗をはかれる環状道路などの周辺道路を進めることにより、市街地内の交通渋滞緩和や交通事故解消も図られることから、より早期の事業効果の上がる周辺道路の整備を優先すべきということも考えられます。

② 効率化を徹底的に進める上で、重要視することについて

道路の規格について、いろいろあると思いますが、あまり基準にとらわれず、地域の実状にあった道路整備ができれば、経済的にも道路整備の進捗の上で、効率化がはかれると考えます。

③ その他、道路政策、管理について

交通量の増大に伴い、道路に関する騒音や振動など環境面、また穴ぼこができたりした苦情などが、本市でも年々増加しております。維持管理の面でも徹底していく必要があり、予算的な件に関しても、十分な配慮をしていただきたいと考えます。